

第3回

市民ワークショップの結果をお知らせします

12月16日（土）支所で、第3回目の「信州新町地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

今回は、アドバイザーの信大・佐倉先生から「前回のまとめ」の説明と、学生から「学校を活用した複合化の考え方」の提案（裏面参照）がありました。

その後「①集約化・複合化を考える、②将来まで残す施設を考える」視点を踏まえてグループ討議を行って、次回に向けた中間発表をしていただきました。

参加いただいた皆さま、熱心な議論をいただき、ありがとうございました。

今回はA・B合同のグループで討議いただきました。



これからの地域のリーダー世代のCグループ



佐倉先生から前回のまとめ
信大生から提案発表

中学生と高校生が中心のEグループ



住自協会長さんにも参加いただいたDグループ

次回1月13日（土）が最終回。各グループの意見発表会です。信州新町の活性化や将来のまちづくりを見据えて、新鮮なアイデアが発表されることを期待しています。



最終回の結果は、来月お知らせします。来月お楽しみに。



長野市ホームページ
（市民ワークショップのページ）

<https://www.city.nagano.nagano.jp/site/koukyou-ws/>



【お問い合わせ先】
公共施設マネジメント推進課
電話：224-7592
信州新町支所 電話：262-2200

各グループの主な意見をご紹介します

【A・Bグループ】

- ◇かがやき広場、憩の家を作りたい。福祉センターの風呂が使われていないのはもったいない
- ◇授産センター、つくし、三津和園は統合できるのでは。犀川交流センターに若い建築家を集めて自由に改装させたら面白い。

【Cグループ】

- ◇信州新町体育館を、子どもと親と一緒に過ごす拠点施設として整備する。隣接の運動場を公園化し、図書館機能、福祉センター（寺子屋）を体育館に一体化する。
- ◇子供が住みやすい町にして、子育て世代の満足度を上げて定住人口の増加につなげたい。

【Dグループ】

- ◇小学校は中学校に集約。市民プールを整備して小中学校の授業に利用する。
- ◇旧小学校の体育館は、新町体育館の分館として活用する。信級・日原収蔵庫は収蔵品を整理して小学校の体育館に展示する。◇公共施設の集約化により交通弱者が困らないような対策が必要

【Eグループ】

- ◇福祉センターの寺子屋は、中学校と連携して利用者を増やす。
- ◇つくしなどの障害者福祉施設は残す。犀峡衛生センターは廃止できる。
- ◇児童数が減れば小学校は空くので、収蔵庫にある資料の展示を行う。

各グループからの意見として、観光、自然、コミュニティ、交流、グルメに対する意見が多かった

交流	観光	暮らし	グルメ
12	28	8	11
災害対策	自然	アート	空き家
3	28	8	3
農業	地域の絆	人口増加	交通手段
10	3	5	2
住	コミュニティ	子供	住民
2	13	5	6

▶ 小学校 × アート ▶ アートが町の交流を生むきっかけに

A班「美術館のレンタル」
C班「1ターンの促進」
E班「技術家が集まる町」

朝一夕方
夕方-早朝
移転後

空き教室
日中は授業の邪魔となるため、空き教室は使用しない。

放課後に空き教室をアトリエとして使用。生徒と一緒にアート制作も行う。

移転後
小学校が移転した場合、全校を使ってアトリエ展示会場とする。

使われなくなった教室の壁を用いて、アーティストとの交流から芸術を学ぶことができる。

B班「信州新町を全国にPRしたい」
D班「教育レベルの高い町」
C班「若い夫婦の定住」

▶ 小学校 × 博物館 ▶ 子供が楽しめる町になる

信州新町化石博物館の化石が...
小学校にやってきました!

壁に描かれたシンジウセウモクジラと對比へ

化石のスケッチ大会の開催
恐竜の歩幅を自分で歩いて体験してみる

A.E班「高齢化対策」魅力的な施設
D班「併せてきて安心する町」
D.E班「小・中学校、高齢者の交流」

▶ 小学校 × 高齢者施設 ▶ 多世代の交流が生まれる

多世代の賑わいが見える学校

高齢者人口の増加
空き教室の増加
親子や地域住民の参加
校庭が地域の公園になる

お昼ご飯と一緒に食堂で

先生はおはあちゃん・おしいちゃん

信大生の小学校を活用した施設のイメージイラストです →

■アンケートでは「各グループの年代によって対象施設が違ったので、様々な意見が聞けて良かった」「知らなかった施設について知ることができた。施設の必要性を考えて移転や改築のアイデアを出すことができた」「今回議題が難しく、なかなか意見が出せなかった」などの声をいただきました。